



アンケート特集①

神戸とわたし

アンケート

- ① 貴方が「神戸」にお越しになつたり、住んでらしたのはいつ頃でしよう。それはどのあたりに何年ほどお住いででしたか。
- ② その頃の「神戸」で一番思い出深いこと、また場所は……。
- ③ さいきん「神戸」にお越しになりましたか。まず最初にどこに行かれましたか。（あればその理由を……）
- ④ 神戸にいらつしやるお友達との「友交録」を……。
- ⑤ 「神戸」の印象で、貴方のとつておきのエピソードは……。

① 大正の終り頃には、まだ学生時代でしたのが、毎日曜、新聞地へ洋画の封切を見に行きました。昭和になつてからは、八、九年から十六、七年頃まで、主に夜の神戸ですが、よく行きました。

② その頃は外国の古雑誌を探すのが楽しみで、昼間から出かけて方々の古本屋を廻り、日が暮れると、加納町のバア街に行きました。その頃よく行つた安くてお美味しい店に、たしか大丸の傍に肥つた女人の人がいた地下室のベルベットというのがありましたが……。

③ 一番の象印は、昭和十四年に生田神社の傍の骨とう品屋で、千八百年代のスイス製の豪華なオルゴールを見つけて、欲しくてたまらず、ただ値段が四百円という余りにも高価なので手つけをおいて約束の日に金を作つて行つたもの

① 貴方が「神戸」にお越しになつたり、住んでらしたのはいつ頃でしよう。それはどのあたりに何年ほどお住いででしたか。

② その頃の「神戸」で一番思い出深いこと、また場所は……。

③ さいきん「神戸」にお越しになりましたか。まず最初にどこに行かれましたか。（あればその理由を……）

④ 神戸にいらつしやるお友達との「友交録」を……。

⑤ 「神戸」の印象で、貴方のとつておきのエピソードは……。



葦原邦子

の、決心がつかず、店の前を行つたり来たり、到頭その日は買わずに大阪に帰り、また数日して今度は友人と一緒に出かけ、友人にも見つめられ、買えといわれてついに買ったそのオルゴールがまた重くて持つて帰るのに往生しました。今も、私の宝物でその頃の神戸が懐かしく思い出されます・

（作家）



井上友一郎

⑥ 松竹座に「たそがれのウキノン」を三度、「会議は踊る」を三度、シャリアーピンの「ドンキホーテ」を二度みに行つて熱をあげました。青春のカングキはみんな神戸からあつたと思います。（ＴＶタレント）

昭和十年頃、神戸の諏訪山へ遊びに行き、動物園の近くのホテルに泊りました。田村泰次郎、十返塚、丹羽文雄氏ら一しょです。トアロードのへんを、うろうろしました。ちよつと外国の都市にいるような気がしたのを覚えてます（作家）

井上 美奈子

① 昭和21年夏、一日だけ。御影の友だちと。

② はつきりした記憶がありません。ジユラルミンの家が出来た（る？）というので白っぽい金属が陽に輝いて不思議なムードを漂わしている街を想像しました。

③ 最近は閑がなくて行けなくて残念ですが、三年位前に行つたらもとまちが寂しくなつてつまらなくなりました。それにトアロードも悲しいみたいな気分でした。昔の神戸の方が好きです。

④ フランス人のゲリトーさんという、本当に優しいおじさまがいましたが、今いらつしやればおそらく一人。

⑤ 「舶来」という言葉がケンイントを持っていました。小学校へ行くまでの洋服はいつも父が神戸まで行つて買つてくれました。黄色いフランスししゆう、夢のよう薄い布地にどつしりした羽二重のような裏打のしてあるブリー・ツのいっぽいある洋服など、神戸

と結びつけて、よくおぼえていま
す。それにユーハイムのケーキ。

(学芸通信社編集長)



いソノ
テルヲ

① ボクの母は女学校時代を神戸
ですごしていますので、いまでも
なつかしがつております。神戸女
学院だそうです。ボク自身はジャ
ズの仕事で、放送やコンサートの
司会をしに度々神戸に参ります。

② 神戸に行くたびに洒落れた街
でこんな所に住んでみたいといつ
も思います。ボクの父と同じよう
に神戸育ちの女性と恋愛し、結婚
したいと思います。(独身ですか
ら……)

③ 去年チエミちゃんと二度続
けて行きました。一度はアメリカか
らデルタ・リズム・ボーカーズが来
たとき、次はチエミのリサイタル
で最初に行く所は国際会館です。
『神戸つ子』の編集室へ

④ ジミー原田氏(往年の名ドラ
マーで現在はバンドリーダー)ジ
ヤズメン、歌手はほとんどすべて
交友があります。ビフテキ屋の『
みその』泊る所は中山手の『和香
葉』とても家庭的です。

⑤ 荘町のバー『キヤバレロ』に
田中さんという混血美人がいたけ
ど、今頃どうしているかな?とつ
ておきのエピソードになつてほし
かつたんですが……。

(音楽評論家)

宇井無愁

① 昭和14~15年、モダン寺裏と
山本通三。

② 戦中は長い長い反英運動の行
列。その理由がよくわからなかっ
たこと。(昭和14年頃)失名店の
グランドビフテキ。戦後はみさご
ずしの大きなにぎり。

③ 毎年一度は行きます。最初は
大阪から行く関係でどうしても阪
急三宮駅になります。

④ たくさんいますが、いちいち
申し上げられません。いちいち
これもむづかしいおたづねで
ハガキでは意をつくせません。ま
あ浴衣がけの下駄ばきでカサをさ
して銭湯へ行く西洋婆さんなどは
もつとも神戸らしい印象といえま
しょうか。東京で繁昌のユーハイ
ムも三宮ケイサツ前の古色蒼然た
る店を思うと今昔の感あり。

(作家)

永六輔

① 五年ほど前から四季に一度は
散歩に行きます。

② もっぱら生田神社の隣りの
「ユーハイムで」お茶とお菓子を
楽しめます。

③ 去年の夏、元町のズーとオク
の方の左側にある古道具屋サン
(米軍のお古)でコレクションの
帽子を買いました。

④ 唯一人田路時計店のワカダン
ナ。買物のコーチャーです。

(作家)

金子兜太

京都伸夫

① 昭和28年9月から33年1月ま
でおりました。最初は岡本につい
て摩耶山麓に。

② 南京町——いまから20年前。
戦時中で物資不足。南京町へ行く
と牛肉(味噌漬)を公然と売って



源氏鶴太

① 年に二度くらい神戸に行きます。
理由は家内が神戸育ちであります。
その弟たちが神戸に住んでいるた
め。

② 私にとつて神戸にとまる理由
は食物がうまいのと、しゃれた物
を売っているからですが、いつも
最初の屋食は「むさし」のとんか
つに決めております。夜はえびの
「ふじはら」へ行くこともあります。

(作家)

② ドンクの生ミルク。ユーハイ
ムの大きく厚いカツブに入つたコ
ーヒーは忘れられません。うどん
も旨かったです。それに菊正宗
今まで東京で菊正宗を探して飲
んでいます。

③ 長崎から東京の本店へ転勤の
途中で、別府から海路神戸港に入
り、神戸で一寸休息、大阪へ電車
で行きました。どうしても神戸に
立ちよりたかったからです。さつ
そくドンクへ行きました。

④ 永田耕衣、赤尾兜子、板垣銳
太郎などですが、永田、赤尾両氏
とは俳句についてひんぱんに文通
しています。

⑤ ありそでなさうで、ウフ
フというところです、

(俳人)



佐多稻子

(音楽評論家)

いた。宝塚から買い出しに行つた（当時、宝塚少女歌劇団に勤めていた）
 ③ 三宮センター街へも「スマドレー」を買いに行つた。インスタントコーヒーが珍しかった頃は毎月「ネスカフェ」を買いにセンターハー街へ出かけた（大変安いので）

いた。初めて神戸に行つたのが昭和三年頃だったと思います。トアロードの中頃（？）にあったフランス人のパンションでした。

② パンションの名は、ホテル・ペル・ヴューといつたといいます

英人バード氏の奥さんがフランス人でこのホテルを経営し、そこで

生れて始めてジンジャーエールを

のんだ思い出があります。

③ 最近はほとんど毎月行つてま

ラス。モトマチ、何んとなくラブ

④ 宝塚歌劇団の先生をしていま

すので生徒さんが二三おりま

す。

⑤ 別にありませんが、数年前の

キングスアームスが印象に残つて

います。それからテキサス・ターバンも。

勅使河原和風

(演出家)

① 神戸の風光美やエキゾチックな港情緒が好きで昭和十年頃から見物させてもらいました。

② 日本で一番デラックスだった一、二等（三等もあった頃）の急行列車の起点だったこと。

中西武夫

(随筆家)

私は東京に生まれ大学は京都大

学でした。大学を出てすぐヨーロ

ッパへ留学しました。一九三一年

の祇園祭の日、神戸港から発ちま

した。三三年櫻名丸で帰つてきま

した。亡き母が発つ日も、帰つて

きた日も埠頭で涙ぐんでいた姿が

思い出されます。



小島正雄

(作家)

いた。相生町にいましたが、長女の出生をひかえて、ベビー服などを神戸へ買いに行きました。元町で買物をしました。それが私の神戸へ行った最初だと思います。その時の思い出は、やはり私にとっては、つよく残っています。

③ 今年の六月に葛谷区神仙寺に病気療養中の友達をおみまいに行きました。この友達村上操さんは広島で原爆反対の活動を熱心につづけていて、そのあげくのけがで長いこと寝ついている人なのです。

④ その時、神戸のバスがいい感じの車体だと思います。神戸を

もっとゆっくり歩きたいと思いま

す。

武智鐵二

(作家)

⑤ その時、神戸のバスがいい感じの車体だと思います。神戸を

もっとゆっくり歩きたいと思いま



菅原通済

③ 終戦後四、五年たつてから行きました。まず元町をたずねました。素晴らしいムードの町でしたから……。

④ たくさんありますが男性で小

さな女性で岡崎君子さん

まだありません（草月流家元）



毛皮の店

ウエタ

元町2丁目・TEL③0686

CRAVAT

SKARF



ネクタイの

元町バザー

元町1丁目 3-1401

旧制の姫路高校にいたので、休み暇には、ロゴスという古本屋にいつもよっていました。変人のおやじさんがいましたが、この娘さんが歌手になり一昨年会いおやじさんの話を出ました。二人の私の良き子は、神戸大学に在学中ですから、私より神戸っ子と申せましょう。

長門美保



演出家

音楽教室をしてますので教えに行きます。

② 七才の時外国から帰つて神戸に住む。日本旅館に着いた時、クツの車に無理お願いし、しかも車の中でイヴニングに着替えやつと音楽会に間にあつたこと（声楽家）

③ 去年十一月二十七日に神戸から帰つたばかり。須磨の辺をドライブするのが好きです。

④ 小学校からセーモンクラスの現玉井商船社長夫人玉井よし子様と親友で、本当にながいおつき合いであります。姉妹の様にしていつも玉井邸にお邪魔しています。その他神戸には弟子もたくさんいます。芦屋、須磨辺りに：

⑤ 須磨をドライブしていく車が故障し、京都の音楽会に遅れそうになつたので、全然知らない方の車にご無理お願いし、しかも車の中でイヴニングに着替えやつと音楽会に間にあつたこと（声楽家）

姫戸に職場をもらいました

② 神戸の食物・女性（食物と女性を共に語るわけではないのですが……）にはそれぞれユニークなキヤラクターがあります。京都大

人を訪ねた。坂道にまばらに街の灯があつて踏切があり、また、まばらに街の灯があつて踏切がある——あつ、これが神戸だなと思つた。

⑤ 行者堂なるところまで散歩しようと思つて茶店のおやじさんに道を訊いたところ、自殺志願者？と早合点され、あやうく駐在へ電話をかけられそうになつた。

① 昭和五年頃

④ 神戸にいる友達よりも、大阪の友達に神戸のよさを吹聴するこ
とに楽しさを感じております。
⑤ もしお金があれば神戸に家をたてますね。

淀川長治

③ ② 元町、新開地、海岸通り。
昭和36年の夏に行きました。

④ たくさんの方々がおつて、とても一言では申せません。

⑤ 神戸に入港したクーリツジ号の船室でチヤツプリンにインタビュートしたことだ。チヤツプリンが「モダン・タイムス」を完成したあとです。

番無正

① 昭和30年5月から33年末まで

①② 昭和二十二、三年ごろ、東灘区に下宿していた神戸大学の友

升田
武雄

① 昭和27年秋から35年春まで会
下山麓に2年、本山に5年、青谷

に1年。
② ある年のクリスマスイブ、悪友一同に愚妻まで加えバーを飲み回ったことがある。愚妻、愚夫ともごメイティで、車を拾って帰途についたものの、アパートの近くで道が判らなくなり、遂に下車小高い国鉄の路線を歩いてヘトヘトになつてわが家にたどりついたことあり。バカな話。

③ 毎月一回須磨の本社へなるべく夜着くよにアンパイして、まつすぐ三宮の酒くさい店へ。

④ 悪友ぞろいでいわぬがハナ。

家の山田赤磨氏。これはほんとの聖人。

⑤ 結婚式の直前（私自身の）、理髪店の定休日であることを発見した一人の例外は、西宮に住む作家の山田赤磨氏。これはほんとの聖人。

（ラジオ関西東京支社社長）



森繁久彌

私は甲子園に、兄が須磨に育つた。私が兄を訪れ、兄が私と一緒に甲子園にくる時に私たちは神戸の街をあるくのである。そして歩きつかれるメリケン波止場にいつて白い大きな船をいつまでも、あかず眺めることができなかつた。その頃は須磨の姉が、ユーハイムや、弘養館のビフテキをご馳走してくれるのが最大の喜びだつた。その神戸の街に近頃は、阪本知事を訪ふことが、たのしみになつた。神戸の紳士は、5時から後

は、大阪の人の様に仕事の話しをたのしい酒のなかにはさまない。おおよそののだ。これが神戸っ子の怜度たるう。

（映画俳優）

森沢彌一郎

① 莘合区脇浜で生まれ3つぐらままで神戸育ち。神戸新聞社会部から神戸で生活し31年暮から35年4月まで莘合区神仙寺通一に住んでいた。

② 文句なしに神戸新聞社会部、怒られっぱなしで育てられ、抜いたり抜かれたりがすべてだったから。思い出の事件はピストルギヤング原田熊雄事件。神戸新聞の社

内野球で編集が初優勝した磯上球場（野球キチガイだから）は忘れられない。好きな場所は海。

③ 神戸新聞社会部でいっしょに働いた連中、中学時代の友人で熊内の劉外科の劉善郎、神戸大教授の赤川浩爾、同谷内俊弥、川崎製鉄の中条敏雄、ラジオ関西の坂上豊の諸兄。

④ 大阪の北野中学へいったが、当時北野と神戸一中とは、何かにつけてよきライバルだつた。それだけにカーキ色の制服、白ふろしきの中スタイルには妙な対抗意識を感じたもの。若かりしころから神戸といえばあのカーキ色が忘れられない。社会部に入つたらすぐによく地図をくれる。まず地理を覚えろというわけだ。まもなく大倉山へいくので車を……とおそるおそる市警から電話したところ

「このオタフクめ」と一かつぐらつた。「山へいくのに歩けとは殺生な」と思ったが、地図を見れば山でも目とハナのところ、どな

られるのが当然の話。かくてかけ出し記者は「神戸はネコのヒタイみたいな町」と覚えた。以来このネコのヒタイを毎日のようにかけ上がり、またかけ下りして仕事もし、遊びもしたものだ。

（デイリースポーツ編集局長）



若杉 慧

① 昭和二年秋から十九年秋まで（第一期）、昭和二十三年夏から二十六年春まで（第二期）

昭和二年十月か、十一月の某日

船で中突堤に着いたのが朝の四時すぎ、屋台のナベヤキウドンといふものを食べ、就職先の神戸小学校にいくとまだ門が閉つていて叩けど、呼べど誰も出て来ない。すこし明るくなりやつと動き出した市電に、目的なく乗ると、上筒井でおろされてしまった。（当時上筒井が終点）商大の方へ坂をのぼりウロウロしていたら、ウラナイ師の看板あり、入るとねぼけ面の男が出て来て神主のよくなコロモを羽織つて私の前に座り、易を見てくれた。君は神戸に来ても運勢は開けぬ。但し若杉學もしくは若杉静と改名したら、池中の竜が雲を得て天に昇るがごとく成功疑いなしといった。五十銭払つて出たつた。

② 以下について（広告めいて）
「このオタフクめ」と一かつぐらつた。「山へいくのに歩けとは殺生な」と思ったが、地図を見れば山でも目とハナのところ、どな

（作家）



マタムコンハンワ

クラブ 阿似子

気つぶのいいマダム。芸者生活十二年、マダム業二年のベテランとは、ちょっと想像ができないほど初々しい感じだ。隣りの若奥さんというように、そつと阿似子ちゃん」と呼びたい。

母子二代、姉妹そろっての花限育ちだが、その苦労が全く見えないほど苦労が多かったのか。ノン気に育ったためか。五つになる一人娘を心の支えに、派手さのなかに渋い和服姿の小柄な体から、笑顔が絶えることは考えられないほど。

まあ金に恨みはないのだろう。

東門通の一路東、『なきさ』の北六、七軒目にある店は、セット三つあとはスタンドという細長さながら、スポットライト一つにしても非常に纖細な神経が通っている。天井近く、とりどりの花がふんわり浮かんで、雑踏を忘れさせてくれることは請け合い。女の子も美人揃いではないが、若さと個性にあふれた十人衆で、口説いてふられても腹が立たない。ママの魅力のせいだろうか。

この阿似子ちゃん、ゴルフもすれば、嵐山近くの車折神社の信者でもある。神戸の財界人は、花限以来のえにしてよく顔を見せるが「金融関係の方々には、とくにお世話になっています」ということだ。

(ナン)

新春マンガ ①

たかはしもう

上がれ上がり



トラ年酔つぱらい保護車



値上がり正月「かずのことです」

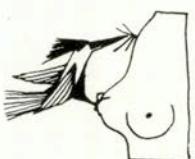
ト
ラの話を書けというご注文で
したが、トランク・コーナー
に閉じこめようというのがどくだ
ムリな注文。それに、大トランクとも
なれば、女っ気をきらいます。眼
中にアルコール以外何もないとい
うのが大トランク族の真価です。そ
こでトランクはトランクでも「トランクの巻」
の話でご勘弁ください。

さてモモイロの方の「トランクの巻」
といえれば日本では四十八手とい
うことになつております。先ころ
グレコのシャンソンを聞きに行き
ましたが、そのときの歌に「お人
好しの恋」というのがありました
フランス語はわかりませんが、何
でも義理にしかオットメのできな
い亭主を歌つたもので、その中で
何んとかいう島へ行つて「三十六
手」でも覚えていたらどう?と細
君がいうそうです。司会者のA氏
が「日本では四十八手ですよ」と
いつたら、グレコがビツクリして
いたとか。

さて、バーで二人の男がもめて
います。「恋のテクニックは四十
一手あるんだぜ」「いや違う四十
二手だ」「いいや四十手さ」「四
十二手さ」「どこまで行つてもキリ
はないので」「よし、それでは初め
から並んでみよう。それなら文句
はあらまい」「よからう」「まず第一に普通のボ
ズがあるだろ」「アッ、それを
忘れていた」

(T)

ひんくこーなー



KOBEKKO SHOPPING GUIDE

明るく美しい
神戸のトップショップで
楽しい冬の
ショッピング



元町二丁目
③ //
2 9 9 6
▲▲



アート物の店 美術・陶器
中林寅一商店

神戸・三宮・生田筋
TEL ③ 0238

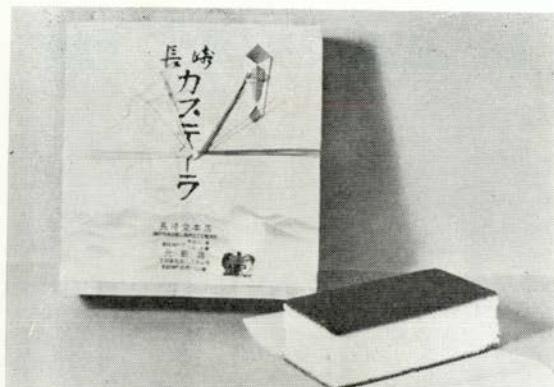


御婚礼お仕度
ピンパーム

Maxine

マキシン美容室

三宮神社前・TEL③4917



いつでも贈って喜ばれる

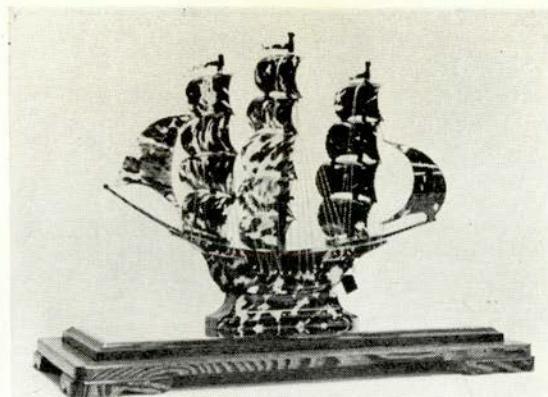
風味豊かなカステーラ!

<元町6丁目>

長崎堂本店

本店7-4402元町4-4130

直売店 神戸大丸・阪急



センスあふれる
べつ甲の専門店
元町一丁目

太田籠甲店

③6195

YE AULD SHIRT SHOPPE



よろず御親良仕立處

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL③2168



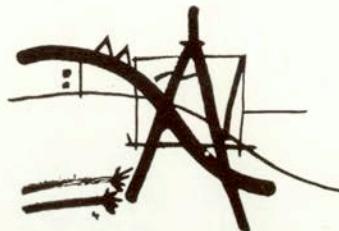
高級紳士服専門店 (神戸クーポン歓迎)
オーダーメード・イージーオーダー・レディメード
神戸テーラー

生田区北長狭通2 (省線高架通50) ③2817

雪の季節に
スギヤのおしゃれ!

KOBE
SUGIYA
ハンカチと下着の店
トア・ロード TEL ③3436

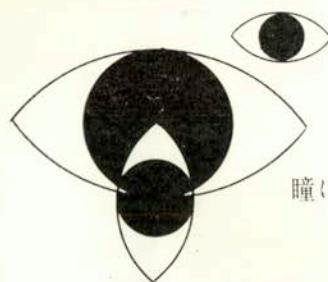
額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
③1309・6234





瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市兵庫区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL(22)8161・8361

One Month Plan Beauty!

SONY

高級洗顔ソニー
(酵素卵白含有)

洗顔のたびに 美しくなる
若々しくなる

¥500 ¥250(化粧品店にあります)

ユーハ化学研究所

明石市大蔵町6丁目



マルゼン

神戸市生田区三宮町1丁目(生田筋)
TEL. ③ 0212・5454